

第三十一回夕暮記念こども短歌大会入賞歌 中学生の部

No.	賞名	作品	学校名	学年	氏名
1	秦野市長賞	寂しげな夏の終わりに永遠（とわ）に待つ君へとつなぐ最終列車	西	2	河野 凧紗
2	秦野市教育委員会教育長賞	舞台上音色を響かせ大空へ7月下旬のたった7分	南	2	嶋本 里海
3	秦野中ロータリークラブ会長賞	ふと空を見上げてみればかくれんぼしているのかな青空とビル	渋沢	2	柏木 素葉
4	秦野市立図書館長賞	温かく心安らぐ木の力私の恋人クラリネットよ	北	1	相原 未奈
5	寺尾登志子選者賞	沖縄の緑の海のサンゴ礁魚で着飾り虹色の花	西	2	進藤 里咲子
6	佳作	富士山をながめて乗った観覧車狭くて暑い家族との距離	南	2	吉門 莉々菜
7	佳作	帰り道いつも遠目で追いかけるいつまでとなりにいさせてくれる	南	3	高橋 理子
8	佳作	家の中歓声だけが響いてるテレビの中は夏の甲子園	南	2	森山 怜奈
9	佳作	女坂鮮やかな緑に移り変わり私にささやく「夏が来るよ」と	南が丘	2	大平 花乃
10	佳作	近所の子まっげにマッチのるらしい私のマツゲ糸すらのらず	南が丘	2	成田 陽向子
11	佳作	逆光で見えない顔を忘れても夏と思いで忘れられずに	南が丘	2	市橋 春菜
12	佳作	授業中頬づえをつく私の手に浮かぶは架空の世界	南が丘	2	武田 彩央
13	佳作	帆を広げ自由な海へと進みゆく大海原の猛き白鳥	渋沢	2	野々山 晃凌
14	佳作	雨の中大空かける夏の虹思わず探す自分の色を	南	1	伊部 遥大
15	佳作	消えはしない星座のようになれたらな闇の中でも何もなくさずそこに	南	1	磯崎 啓
16	佳作	遠くてもそばに感じる存在がこぼれる涙ぬぐってくれる	南	3	遠藤 光紗
17	佳作	水しぶき太陽の光アスファルト汗のにおいと笑顔のすきま	西	2	稲葉 桃子
18	佳作	霧の朝光差し込み見えてくる写真の中でほほえむ私	鶴巻	2	松沼 梨々花
19	佳作	ライバルに負けて悔しい一対一夕日が照らす家までの道	南	2	佐伯 アンドレ
20	佳作	江ノ電にゆられてついた七里ガ浜その海われを待っていたよう	東	2	久保田 朱寧
21	佳作	セミがなく探してみるがみつからずにまるで木々がいないようだ	大根	2	全田 有
22	佳作	白と黒ころがるボール追いかけて疲れて帰る新緑の道	南が丘	2	笹原 大幹
23	佳作	部屋のすみ視線感じてふり向けば思い出つまったランドセルかな	鶴巻	1	岩田 夏季
24	佳作	予習して翡翠求めて海岸へ終日の成果ただの石ころ	鶴巻	2	篠木 隼
25	佳作	初めてのアンサンブルのコンクール息を合わせてアイコンタクト	相模原 中等教育	1	石井 李紗